

特集1

レジャー・集客施設の
木造・木質建築

「木」の価値をいかに訴求するか

特集2

ブーム到来・出店ラッシュ
アミューズメントポーカー

施設

鹿沼72カントリークラブに全国初バーチャルゴルフラウンジが
8月5日グランドオープン



KANUMAグループは、「鹿沼72カントリークラブ」(栃木県鹿沼市)のクラブハウスにバーチャルゴルフ(ラウンジを付帯したシミュレーションゴルフ2打席)を8月5日にオープンした。

同グループは、近未来のゴルフ場経営を目指して、ゴルフを中心とした地域拠点づくり「リージョナルカントリークラブ」構想を掲げており、多様性のあるゴルフ場経営に取り組んでいる。その一環として、昨年12月にクラブハウスのレストランにカジュアル層をターゲットにした本格的窯焼きピッツアや微炭酸ワインを導入して成功を収めている。

今回のバーチャルゴルフラウンジの導入は、

人が集まり・楽しみ・交流するエンターテインメント空間の拡充を図ることを目的としており、リージョナルCC構想の第2弾と位置付けている。

バーチャルゴルフラウンジが導入された130㎡のスペースは、コロナ禍でコンペパーティが減少したことにより、コンペルーム4会場のうち2会場をコンバージョンしたもので、導入したゴルフシミュレーターはGOLFZON製。

総事業費は約4,000万円。そのうちの2,400万円を「中小企業等事業再構築補助金」(中小企業庁)を活用している。

利用料金は、平日1コマ50分4,400円(税込)、土・日祝日1コマ50分6,600円(税込)で、

最大6人まで利用可。朝の練習利用(9時30分まで)は平日10分550円(税込)、土・日祝日10分660円(税込)。

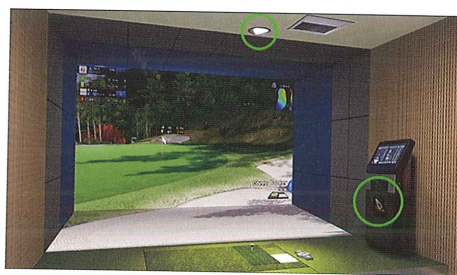
なお、2023年には同構想の第3弾として、レストランのテラスエリアを天空ウッドテラスカフェへのリニューアルを計画しており、地域のコミュニティスペースとしての機能のさらなる拡充を図っていく。

問合せ

鹿沼72カントリークラブ
<https://www.kanuma72.jp>

商品

ラウンドのリアル感を高い次元で実現する
GOLFZONのニューモデル「TWOVISION Plus」



シミュレーションゴルフの企画・開発・販売を行なうGOLFZON Japan(株)は、ラウンド専用シミュレーター「GOLFZON VISION」シリーズの最新機種「TWOVISION Plus」(ツービジョンプラス)を8月8日に発売した。

VISIONシリーズは、2013年に日本で発売されて以来、インドアゴルフ施設等から高い支持を得ており2015年にはアップグレードした「VISION Plus」を発表している。

約7年ぶりとなる新機種「TWOVISION Plus」は、まったく異なる場所(海外も含む)でも

最大6人のプレイヤーが同時接続により、リアルタイムなラウンドプレイを実現することができる。またインパクトの瞬間を捉えるディボットセンシングを搭載した高性能センサーを上部と本体に設置。これにより、正確にヘッド挙動とボール軌道、インパクト時の角度を同時に測定することで、より詳細なショット分析を可能とした。

その他の機能もブラッシュアップが図られている。あらゆるアンジュレーションを再現する「デュアルプレート」は、従来のスイングプレートと異なり、左面、中央面、右面が独自に可動

する複雑な構成を実現。合計14種類のアンジュレーションで、より実践的な環境を再現した。またショットするマットの先端に、最適なパッティング方向をガイドするライトを搭載。これまでシミュレーションゴルフでのパッティングを苦手にしてきた人でも、ストレスを感じることなく楽しむことができる。

問合せ

GOLFZON Japan(株)
<https://company.golfzon.jp/twovision/>